

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援RePort野火止教室		
○保護者評価実施期間	2025年10月13日		2025年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28家庭	(回答者数) 19家庭
○従業者評価実施期間	2025年10月13日		2025年11月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6家庭
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員、言語聴覚士、作業療法士、公認心理師など、様々な資格や経験をもつ職員が話し合いながら、それぞれの専門性を活かしてお子様一人ひとりに合った支援を考えています。	ミーティングやケース検討では、視覚や立場に限らず、出された意見を互いに尊重し合っています。また、より良い支援になるように、都度コミュニケーションをとって共通認識を持っています。	職員同士の連携を深めることで、支援の質のさらなる向上を目指します。また、専門的な見地から保護者様の相談を伺ったり助言をしたりすることで、保護者様の安心感につながる家族支援を行っていきたく思います。
2	職員同士の関係が良好で、温かくアットホームな雰囲気の中で支援を行っています。お子様や保護者様にも安心して過ごしていただける環境づくりができていることが強みです。	職員一人ひとりが学び続ける姿勢を大切に、日常の支援の中でも振り返りや話し合いを行っています。疑問や気づきを共有し合い、前向きに支援へ取り組むことを意識しています。	研修への参加を通じて知識や視野を広げ、日々の支援に還元していきます。職員が安心して意見を出し合える環境を維持し、チームとして成長し続けることを目指します。
3	言語をはじめとした特定の発達課題に焦点を当てたクラスを設け、お子様のニーズに応じた専門的な支援を行っています。目的を明確にした支援ができる点が大きな強みです。	遊びや生活場面を取り入れながら、無理なく力を伸ばせるよう工夫しています。楽しさを大切にしつつ、成功体験を積み重ねて自信の獲得になる支援を意識しています。	お子様の成長や変化に応じてクラス内容を見直し、より効果的な支援方法を専門職検討していきます。専門性を活かしたプログラムの充実を図ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の体制やお子様の状態に応じて、活動する指導室の環境設定や活動の内容を工夫することが必要です。	安全面や運営面を優先する中で、環境調整や活動の細かい見直しに十分な時間を確保できないことが要因と考えています。	他の教室で上手くいった事例を参考するなど、限られた条件の中でも工夫できる方法を職員間で共有し改善に取り組んでいきます。柔軟な発想を取り入れ、より支援しやすい環境づくりを目指します。
2	個別支援計画や日々の支援内容について、職員間で共有は行っていますが、より分かりやすくより確実に伝え合える工夫が必要です。	支援内容や気づきは日々生まれていますが、それらを分かりやすく整理し、職員全体で共有するための方法や仕組みが十分に整っていないことが要因と考えています。	振り返りの時間を活用して、個別支援計画や支援内容を共有する時間を設けていきます。分かりやすく共有できるよう工夫し、どの職員が関わっても安心していただける体制を整えていきます。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援RePort野火止教室		公表日		令和8年3月21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		クールダウンなど必要に応じて個室を活用しています。	面談などで個室を使用している際の個室を含め指導室の使い方を検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令上の基準以上の支援者を配置し、支援に余裕が持てるようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			絵カードなどの視覚支援を増やしていくことで、より良い支援ができると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日おもちゃや子どもが触れている場所の消毒、掃除機がけ、モップがけを行い、衛生面、感染症対策に配慮しています。アレルギーのあるお子様が居るため、より一層気をつけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個室や玄関前のスペースをクールダウンや個別対応時に活用しています。	職員の体制に応じた活動や支援方法を検討していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員ミーティングの中で、振り返りの時間を定期的に設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員間で改善の手立てを話し合い実践しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		療育後の振り返り時間を設けていて、その日のうちに改善点や気になる行動について、職員同士が意見を言いやすい雰囲気の中で話することができています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	外部の研修講師を呼ぶなどして、運営の透明性に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		多くの職員が参加できるように、zoomでの参加ができるようにしています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに掲載しています。自治体から依頼のあった事業所紹介にも載せていただいています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	個別支援計画作成時のカンファレンスでは、できる限り多くの職員が参加できるようにしています。	個別支援計画原案を作成する前に、職員の意見を事前に伝えられる体制を検討していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援内容を考える際に支援計画を見返すようにしています。	個別支援計画の共有について、支援の方向性をより具体的に共有できる方法を検討していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		面談やその日のフィードバックにおいて取り入れたいことをその都度話し合っておアセスメントすることができています。	詳細なアセスメントを記録できるよう検討していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインや子ども家庭庁が示している作成例などを参考にして計画を作成しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員の立場や職種に限らずにプログラムの立案に携わっています。必ず複数人の支援者が個別支援計画の内容に沿ってプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		SNSなどを利用して情報収集をしたり、1ヶ月分の活動内容を振り返る時間を設けたりしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼の時間に職員が集まり、その日の流れや支援内容を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日の振り返りを行い、子供の様子や改善すべき点を話し合い次回の支援に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録を残すとともに、定期的に内容を見返すようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加して、幼稚園や保育園などの関係機関と連携をしています。	お子様の状態や状況に合わせて、適宜、担当者会議を保護者に提案していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		特に就学前に支援学校に情報共有を行ったり、就園前後に園の先生と連絡を取り合ったりしています。	保育所等訪問を利用しているお子様については、情報共有、相互理解が進んでいます。一方で訪問支援を利用していないお子様の共有方法については都度検討をしております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		公園で遊ぶ際に、近隣の保育園のお子様と一緒に使うなど地域への理解を求めています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		個別での相談を中心に行っています。自治体が行っているペアレントトレーニングの講習会などを周知しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			見学や利用契約時に説明をしています。	

関係機関や保護者との連携	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・モニタリングやアセスメントの際に、保護者様の思いを確認して、それを計画に反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		フィードバックの時間などを使い、保護者の方の様子や利用児の様子を聞くなど、不安がありそうな際にはすぐに対応できる体制を整えています。	フィードバックやモニタリング以外の時間で、言語聴覚士などの専門職が相談をお伺いする機会を今後も継続して設定していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	個別プログラムで保護者様がモニターをしているときに、保護者同士が交流を持てるようにしています。	保護者の皆さまが交流できる機会について、必要に応じて検討していきたいと思えます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSや教室の掲示などで日々の様子や活動内容を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			日本語以外を母国語とする保護者様には、英語を話せる職員が対応をする体制を整えていっています。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	相談支援員や子育て支援コーディネーターの方などに来ていただいています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		アセスメントの際の聞き取りやフェイスシートで確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様からお話を聞くとともに、アレルギー表などを提出してもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		研修資料の共有について、ICTを活かした方法で閲覧、参加に向けて改善をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束が必要なお子様はいませんが、契約時に身体拘束についての説明をしています。		

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月21日

事業所名：児童発達支援RePort 野火止教室

対象人数（保護者）28人 回答者数 19人 回収 67.9%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3				運動遊びや机上活動といった活動内容に応じて、安全に配慮した環境の設定をしております。今後も安全に支援を受けられる環境設定を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19					法令に基づくとともにお客様の安全に配慮した配置となっております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1		手洗いなどの動作の流れや活動のスケジュールを、視覚的に理解できるよう絵や写真カードで提示しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1				支援終了後に教室内の清掃や玩具の消毒をしております。活動内容によって、絵の具や食紅などが付いてしまうことをご理解いただければと思います。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	1			言語聴覚士や公認心理師、保育士など専門的技術や経験のある職員が支援にあたっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18		1			ホームページにて支援プログラムを公表しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1				保護者様よりお話を聞きお子様の様子を観察したうえで個別支援計画を作成しております。その際には客観的総合的な分析のもとで作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
適切な支援の提供	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				個別支援計画に沿った支援を行っております。モニタリングの際に支援の達成度をより丁寧にお伝えしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1			夏祭り良かったです！2階4階両方で開催されたらもっと良かったです	夏祭り以外でも季節のイベントは毎回好評で、満足していただいているお声をいただいております。子どもたちの興味を持てるよう、お子様の成長、興味に合わせて工夫し、季節のイベントなどを織り交ぜ変化のある活動を今後も行っていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		4	8		公園に行った際には、地域の保育園のお友達と一緒に遊ぶことがあります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	5	7		保護者の皆様のご相談をお聞きしたり、自治体が主催しているペアレント・トレーニングのセミナーなどを紹介したりしています。保護者様も参加できるイベントを今後企画していきたいと思っています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18	1			定期的モニタリングを行い、教室での様子や成長を共有しております。お迎え時のフィードバックではより丁寧に様子や変化をお伝えしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3		1	お忙しい中、いつも丁寧に対応していただいています。なかなか時間がなくて先生とお話できる機会がないので、面談が2ヶ月に一回くらいあると助かります。	お子様のできたところなど大事なことはお迎えの際にお伝えしています。保護者様と面談ができるよう、こまめにお声がけさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	6	8		グループでのご相談やペアレントトレーニングなど、保護者様の交流ができる機会を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	1			保護者様からのご相談は随時受け付けております。お気軽にお声がけいただければと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		1		日々の様子をHUGでお伝えするとともに、Instagramでも活動の様子をアップしております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		1	2		感染症や防災、事故対応など各種マニュアルを作成しています。また、感染症や防災等については研修だけでなく、訓練も行っております。保護者の皆様へのご周知が行き届くよう、掲示物やSNSなどを活用していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10		1	8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		6	ありがたいことに、事故が起きた事がないので、まだ連絡はありませんが、迅速に対応してくれていると思っています。	転倒などがあつた際には、帰りのフィードバックでお伝えしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				療育に行く日は毎回嬉しそうに通所しています。	毎回笑顔で入室していただき、RePortでの療育を楽しみにしていることがよく分かります。今後もお友達や支援者との関わりや活動に興味を持てるよう、支援を行っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				子供がのびのびと、負担がかからないように支援してくれているな～と感じます。ありがとうございます。 個別でSTの先生に指導をしてもらいたいです	日頃よりご利用の皆様には教室運営にご理解いただきありがとうございます。言語聴覚士が出勤している際には、集団プログラム、個別プログラムともに支援に入っております。ご相談したいことがあれば、お気軽にお声がけください。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。